

常磐自動車道
馬藩沢橋他2橋（鋼上部工）工事

宇多川橋（下部工）

設計図

令和8年9月

1	全体図
2-1	馬藩沢橋（上部工）
2-2	馬藩沢橋（下部工）
3-1	宇多川橋（上部工）
3-2	宇多川橋（下部工）
4-1	かやぐらばし（上部工）
4-2	かやぐらばし（下部工）
5	参考図
6	契約参考図書

東日本高速道路株式会社 東北支社
いわき工事事務所

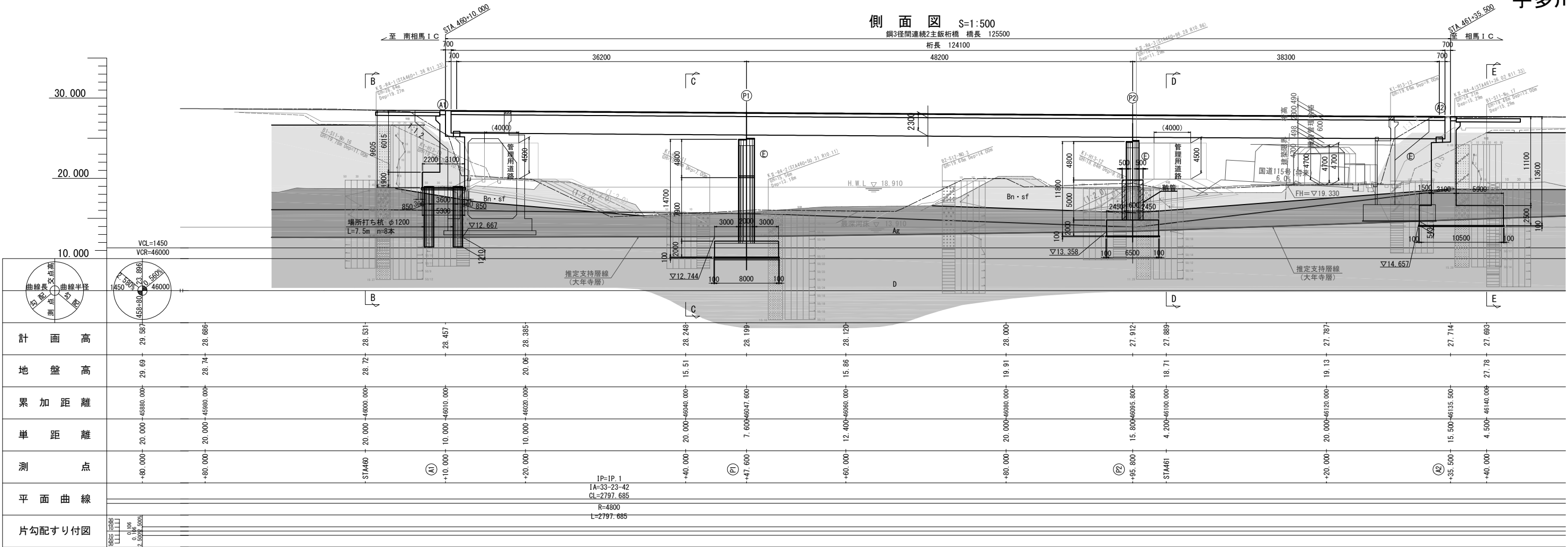
図面目次（宇多川橋（下部工））

[illegible]

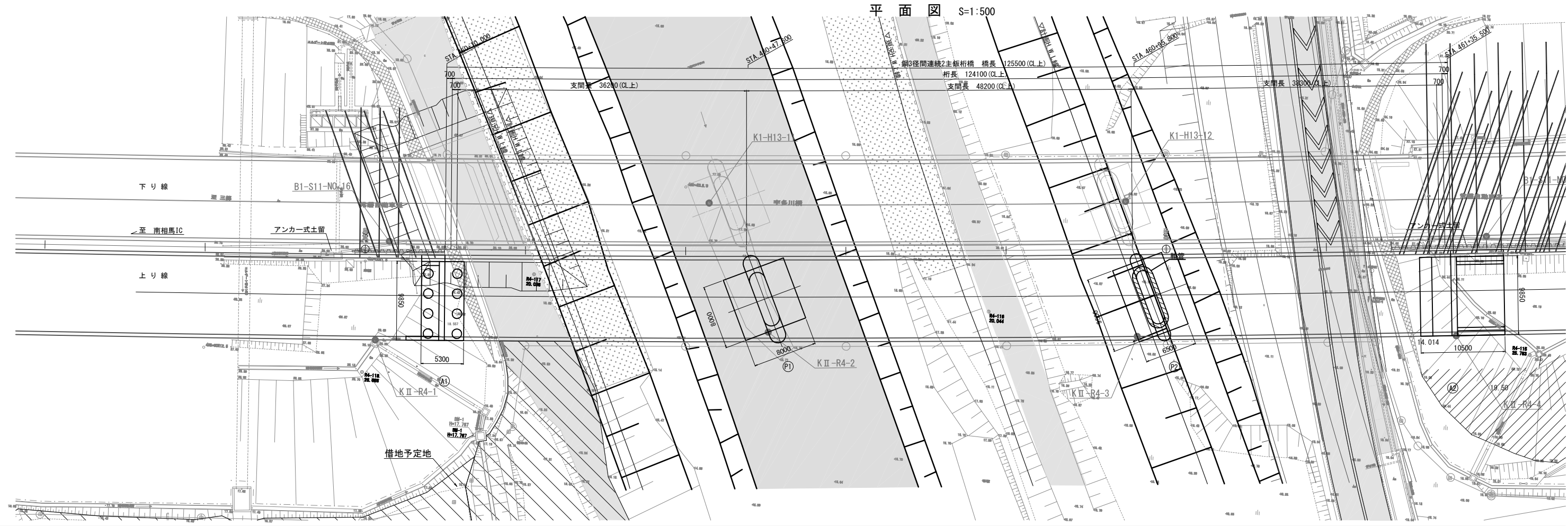
項 目	種 別	規格寸法	単位	数量	摘 要
コンクリート	A1-4	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$	m ³	6.6	壁高欄部
型わく	C		m ²	44.9	壁高欄部
鉄筋	A	D16～D25	t	0.118	SD345 普通鉄筋 支承部
	A(E)	D13	t	0.417	SD345 エポキシ樹脂塗装鉄筋 壁高欄部
		D16～D25	t	0.184	SD345 エポキシ樹脂塗装鉄筋 壁高欄部
		合計	t	0.601	
表面保護工	コンクリート表面被覆工		m ²	141.1	

常磐自動車道 馬藩沢橋他2橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	宇多川橋 数量総括表		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

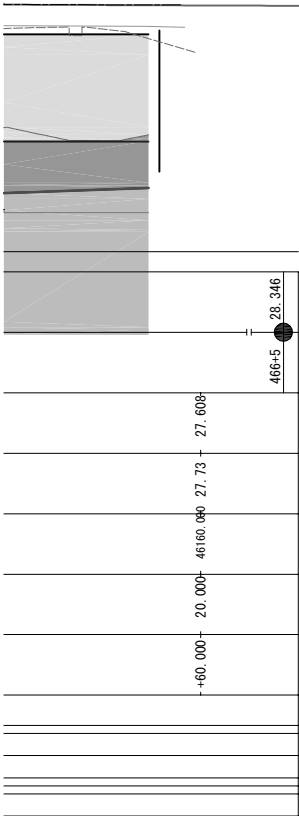
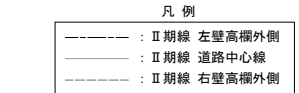
側面図 S=1:500
鋼3径間連続2主桁桁橋 橋長 125500
桁長 124100



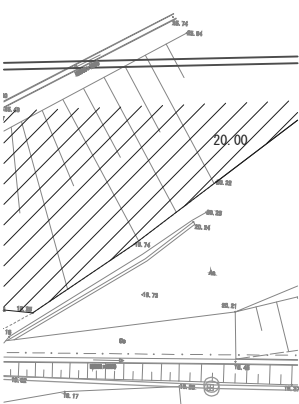
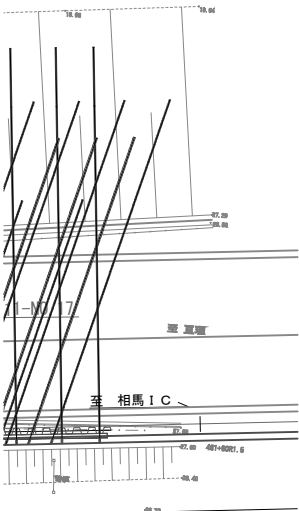
平面図 S=1:500



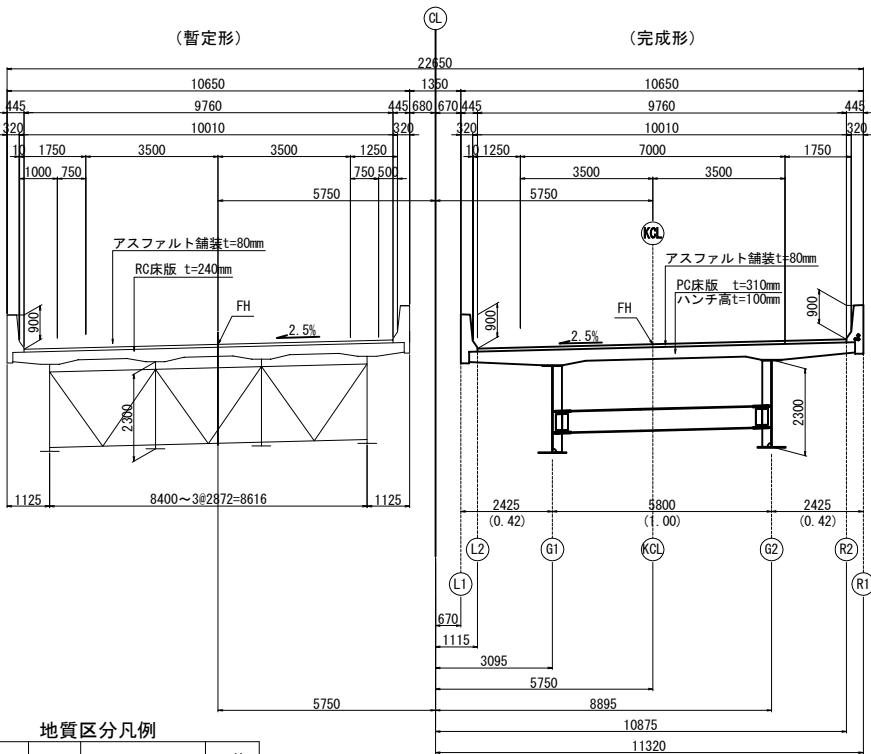
※現状の地層はⅠ期線～Ⅱ期線を中心線より



心線よりⅡ期線側11300mmの位置の断面である

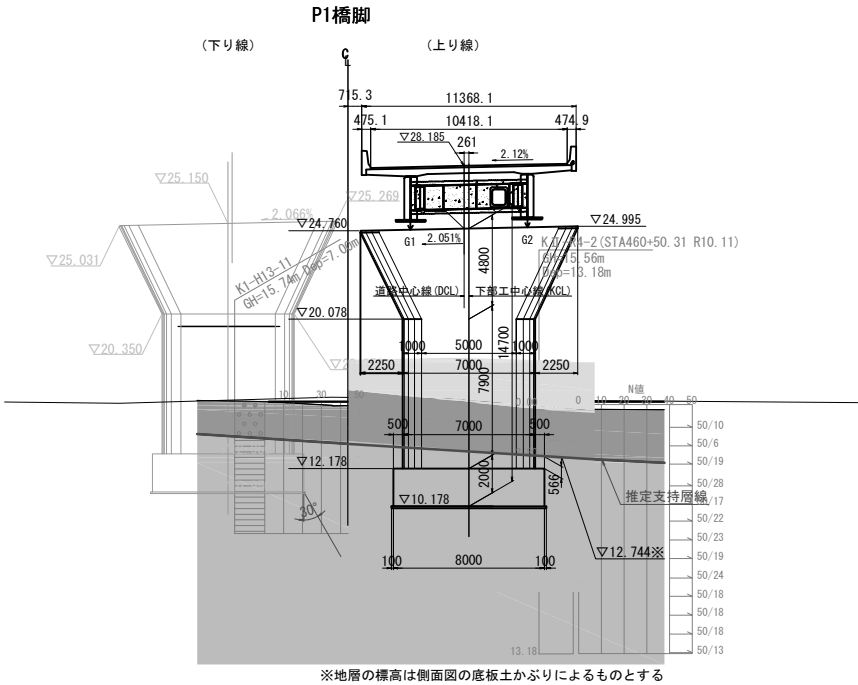


上部工標準断面図 S=1:200

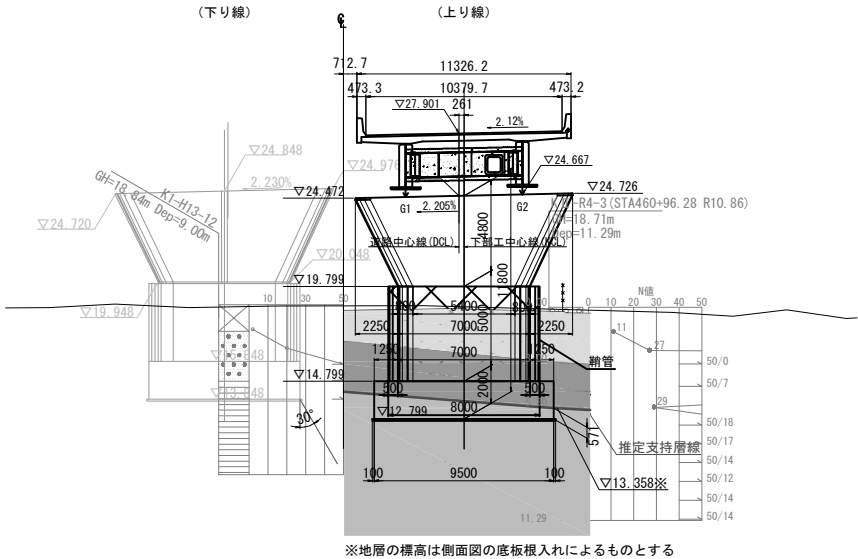


地質区分凡例				
地質時代	地質名	記号	主な土質・岩石名	N値範囲
第四紀	盛土	Bn	砂質土	2~27
	表土	sf	シルト混じり砂礫	
鮮新世	沖積堆積物	Ag	玉石混じり砂礫	12~50
	大年寺層	D	細粒砂岩	

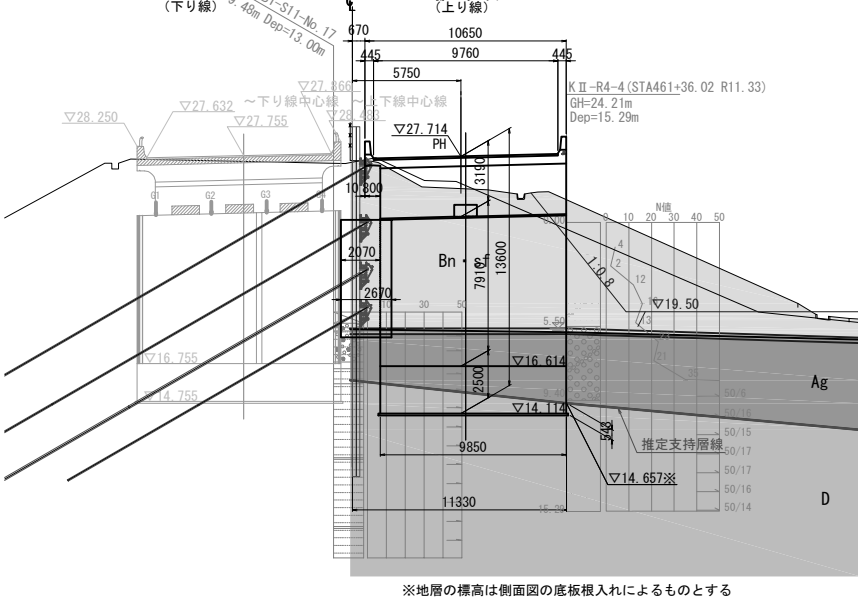
下部工断面図 S=1:400



P1橋脚

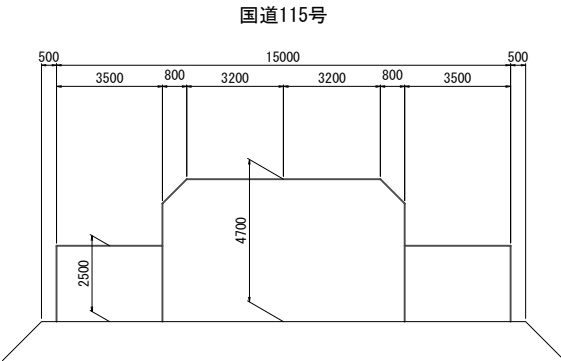


P2橋脚

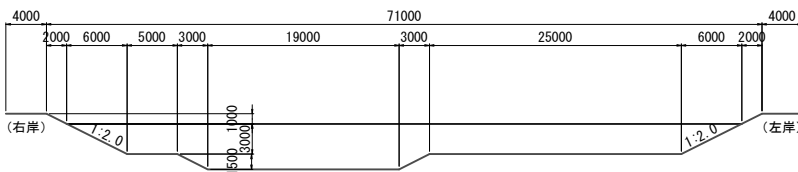


※地層の標高は側面図の底板根入れによるものとする

交差条件 S=1:250



計画河川断面図 S=1:750



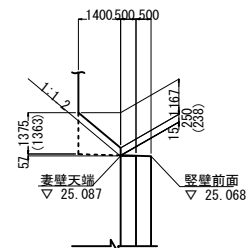
設計条件表

設計条件表		第1種 第2級 B規格	設計速度 V=100km/h
基本条件	計画交通量	大型車2,438台 2方向・台／日	
	活荷重	B活荷重	雪荷重 考慮しない
	橋 長	L=125.500m(道路中心線上)	桁 長 L=124.100m(道路中心線上)
	支間長	L=36.200m+48.200m+38.300m(道路中心線上)	
	有効幅員	9.760m	
	縦断勾配	i=0.560‰ ~ i=2.550‰ (VCL=1450)	
	平面線形	R=4800m (左曲線)	
	横断勾配	i=2.50‰ (片勾配)	
	斜角	90° 00' 00" (A1,A2) , 69° 30' 00" (P1) , 70° 04' 31" (P2)	
	重要度区分	B種の橋	
上部工	地域区分	A2地域 (福島県相馬市)	
	設計水平震度	橋軸方向 : Kh=0.20、橋軸直角方向 : Kh=0.20	
	地盤種別	I 種地盤	
	支持層	D層 (大年寺層)	
	上部工形式	鋼3径間連続2主桁桁橋	
	架設工法	トラッククレーンベント架設工法	
	舗装	アスファルト舗装t=80mm	
	支承形式	免震ゴム支承	
	高欄形式	フロリダ型壁高欄SB種	
	材 料	主要鋼材 SS400、SM400、SM490、SM490Y、SM520、SM570、S10T コンクリート σck=40N/mm ² (場所打ちPC床板) σck=30N/mm ² (壁高欄) 鉄 筋 SD345	
下部工	形 式	橋台 A1 : 逆L型橋台、A2 : 逆T式橋台	
	材 料	橋脚 イチョウ形小判柱橋脚	
基礎工	形 式	橋台・橋脚躯体 σck=30N/mm ² 、SD345	
	材 料	A1 : 場所打ち杭、P1,P2 : 直接基礎、A2 : 直接基礎 フーチング σck=24N/mm ² 、SD345	
適用示方書		道路橋示方書 (H29.11) 設計要領第二集 (H28.8)	

側面図
(4-4)



土留壁詳細図



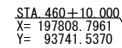
側面図
(5-5)



構造高表

		SI (STA. 460+11.400)	
		G1	G2
路面計面高	Z1	▽ 28.381	▽ 28.526
舗装厚	h1	0.080	0.080
床版厚	h2	0.310	0.310
ハンチ厚 (打下し)	h3	0.100	0.100
桁 高	h4	2.300	2.300
下フランジ	h5	0.020	0.024
桁下端高	Z2	▽ 25.571	▽ 25.712
ソールプレート厚	h6	0.040	0.040
支承高	h7	0.327	0.327
モルタル厚	h8	0.065	0.061
台座コンクリート高	h9	—	—
下部工先端高	Z3	▽ 25.139	▽ 25.284

平面図



断面図
(C-C)



DL=25.000

桁座詳細図 S=1:100

(A-A)
 <G1側>

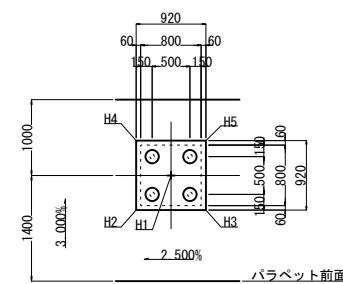


断面図
(B-B)
〈G2側〉



※ 斜線部は無収縮モルタルを示す。なお、無収縮モルタルは上部工施工とする。

無収縮モルタル寸法表

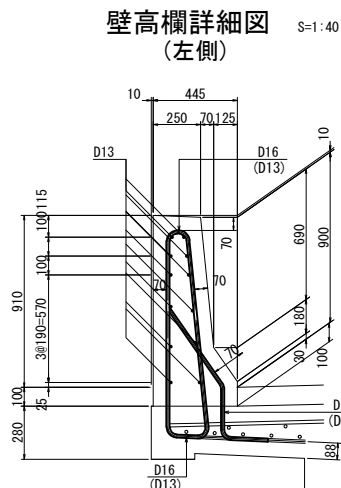
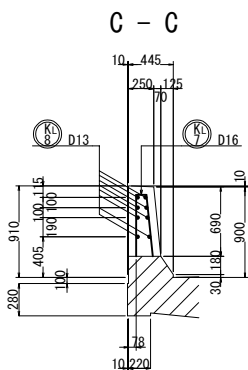
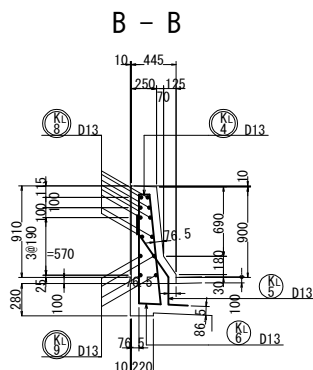
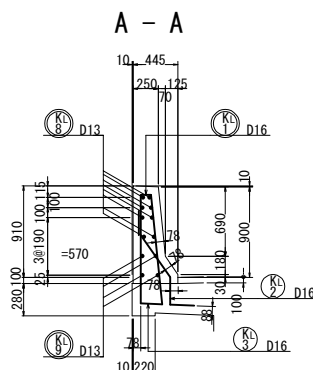
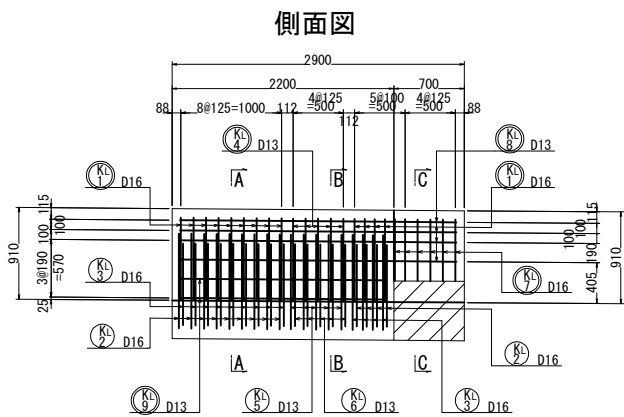


	G1	G2
H1	0.065(0.055)	0.061(0.055)
H2	0.063(0.057)	0.059(0.057)
H3	0.040(0.080)	0.036(0.080)
H4	0.090(0.030)	0.086(0.030)
H5	0.067(0.053)	0.063(0.053)

※ ()内の数値は脊座箱抜き深さを示す。

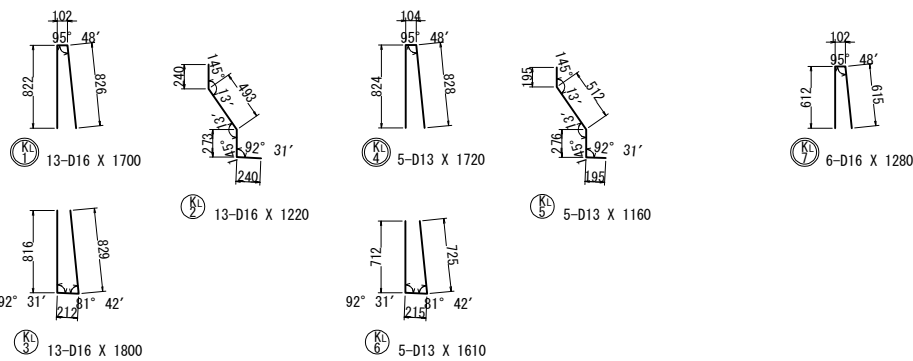
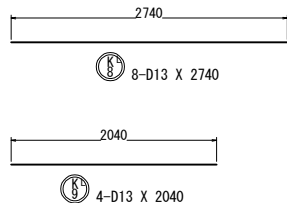
注) 部は上部工施工とする。

常磐自動車道 馬藩沢橋他2橋(鋼上部工)工事				
図面の種類		宇多川橋 A1橋台構造一般図(2)		
縮	尺	図示	図面番号	/
設計会社名		株式会社 建設技術研究所		
施工会社名				
事務所名		東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		



鉄筋表 (上部工施工) [エポキシ被覆塗装鉄筋]

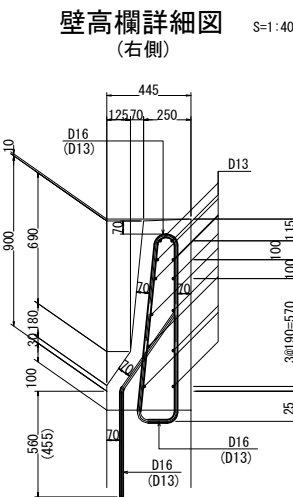
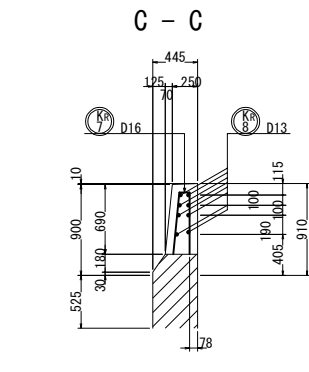
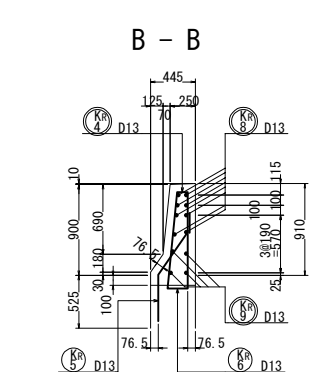
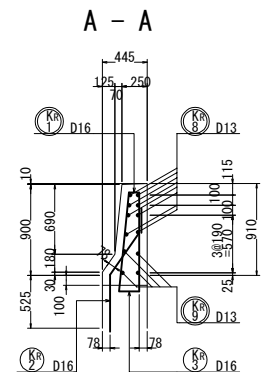
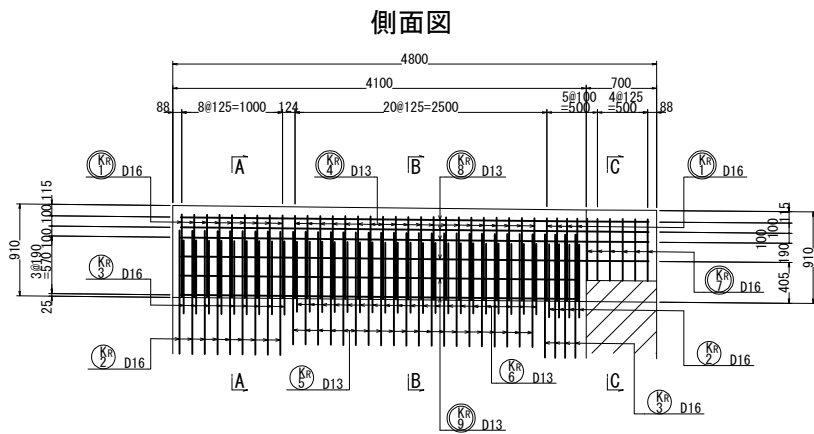
記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
K ¹	D16	1700	13	1.56	2.65	34	⌀
K ²	D13	1720	5	0.995	1.71	9	⌀
K ³	D16	1280	6	1.56	2.00	12	⌀
K ⁴	D13	2740	8	0.995	2.73	22	—
K ⁵	"	2040	4	"	2.03	8	—
							85 kg
K ⁶	D16	1700	13	1.56	2.65	34	⌀
K ⁷	D13	1720	20	0.995	1.71	34	⌀
K ⁸	D16	1280	6	1.56	2.00	12	⌀
K ⁹	D13	4640	8	0.995	4.62	37	—
K ¹⁰	"	3940	4	"	3.92	16	—
							133 kg
				A	B	C	合計
合計 D16				92 kg	—	—	92 kg
D13				126 kg	—	—	126 kg
総質量				218 kg	—	—	218 kg



注) 縦方向は、端部1mの範囲にD16を配置し、それ以外はD13とする。

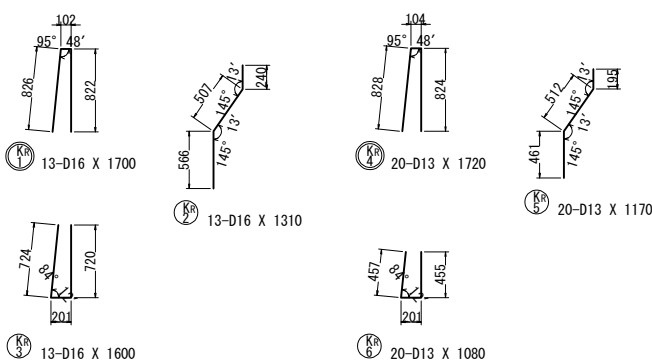
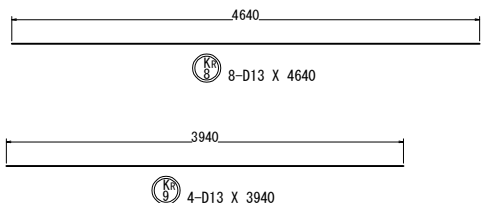
鉄筋加工寸法表

主筋		半半径フック		スターラップ		直角フック	
		8φ以上で12cm以上				ΔL=2L-a	
主筋	径	θ ≤ 90° R=3.0φ	θ > 90° R=5.5φ	θ=45°	θ=60°	θ=90°	θ=135°
		a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
筋	D13	39	71.5	92	96	82	53
	D16	48	88	113	119	100	66
スターラップ	径	R=3.0φ		θ=45°	θ=60°	θ=90°	
		a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
	D13	39	92	96	82	53	61
	D16	48	113	119	100	66	75
	D19	57	134	141	119	78	89
	D22	66	155	164	138	91	104
	D25	75	177	185	157	103	118



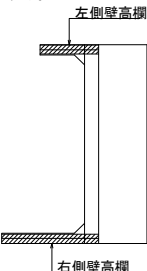
使用材料

コンクリート	鉄筋
σ _{ck} =30N/mm ²	SD345



注) 縦方向は、端部1mの範囲にD16を配置し、それ以外はD13とする。

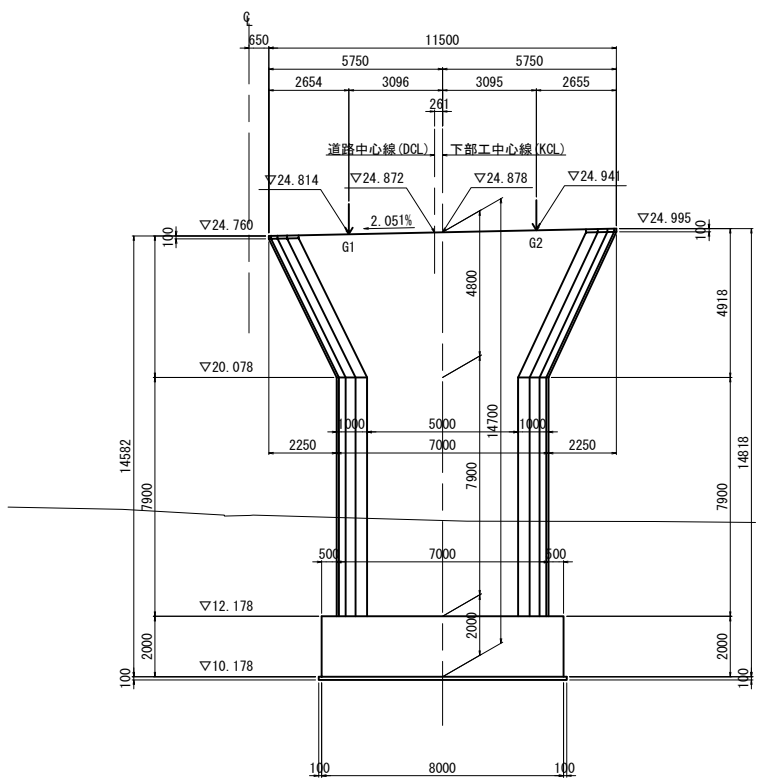
位置図



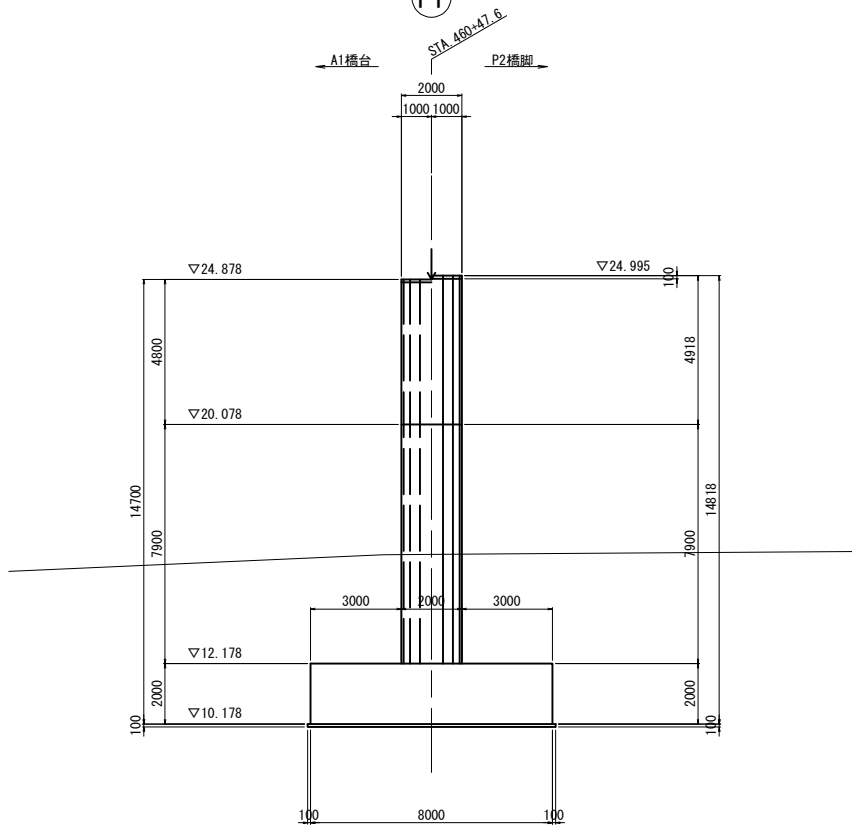
注1) ⌀ は上部工施工とする。
注2) 壁高欄の鉄筋は、すべてエポキシ被覆塗装鉄筋とする。

常磐自動車道 馬瀧沢橋他2橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	宇多川橋	A1橋台配筋図	
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社	いわき工務事務所	

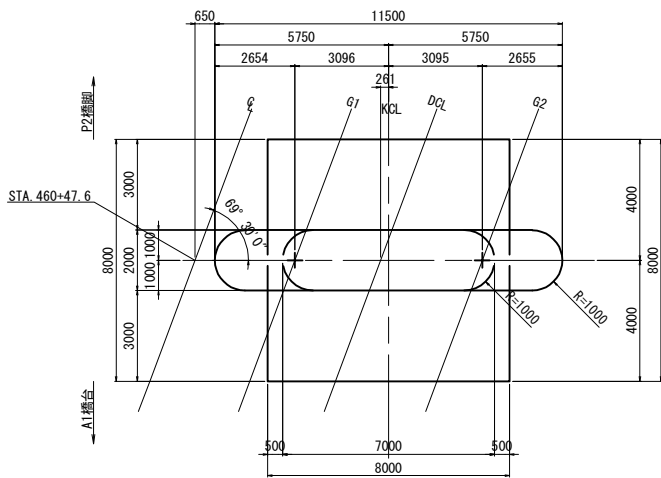
正面図



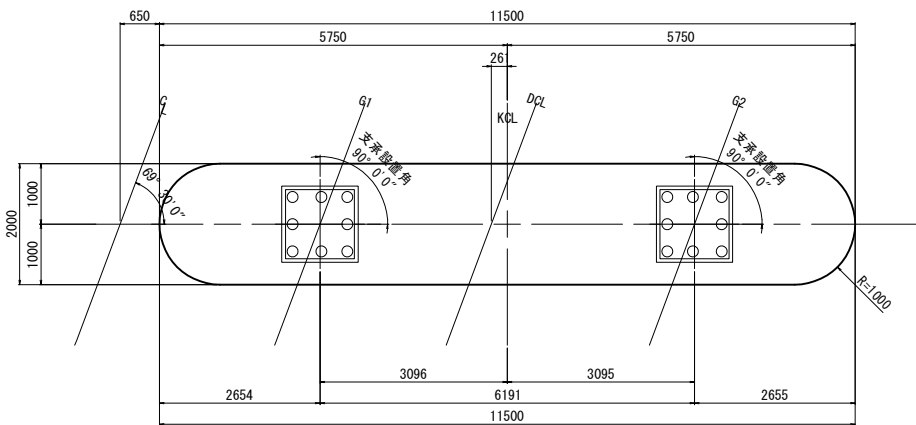
P1



平面図

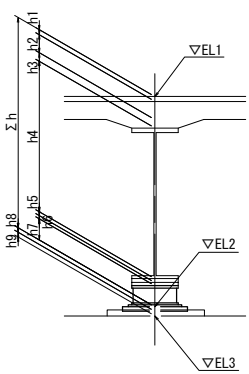


橋座詳細図 S=1:125

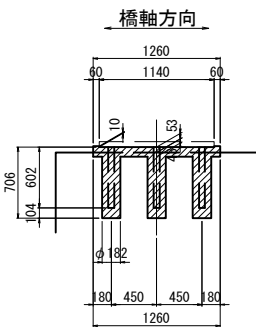
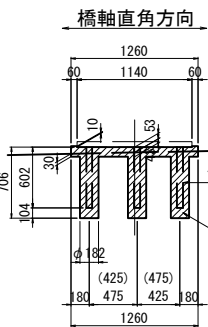


構造高表

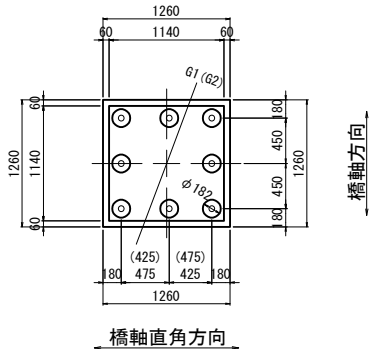
		(単位 : m)			
		G1	DCL	KCL	G2
路面計画高	EL1	28.125	28.185	28.191	28.256
舗装厚	h1	0.080	0.080	0.080	0.080
床版厚	h2	0.310	-----	-----	0.310
ハンチ厚	h3	0.100	-----	-----	0.100
基準桁高	h4	2.300	-----	-----	2.300
下フランジ厚	h5	0.069	-----	-----	0.073
ソールプレート厚	h6	0.042	-----	-----	0.042
支承高	h7	0.357	-----	-----	0.357
構造高	Σ h	3.258	-----	-----	3.262
支承下面高	EL2	24.867	-----	-----	24.994
モルタル厚	h8	0.053	-----	-----	0.053
台座高	h9	-----	-----	-----	-----
下部工天端高	EL3	24.814	24.872	24.878	24.941



支承部詳細図 S=1:75



平面図



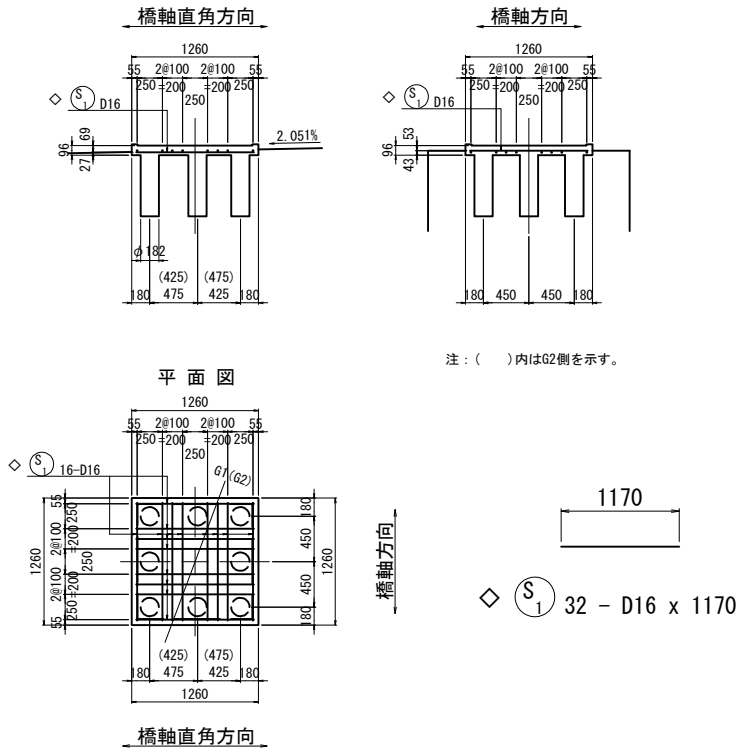
注1 : 部は無収縮モルタルを示す。なお、無収縮モルタルは上部工施工とする。
注2 : () 内はG2側を示す。

使用材料

鉄	筋	柱	SD345
---	---	---	-------

常磐自動車道 馬藩沢橋他2橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	宇多川橋 P1橋脚構造一般図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工務事務所		

沓座補強図 S=1:75
 G1 (G2)



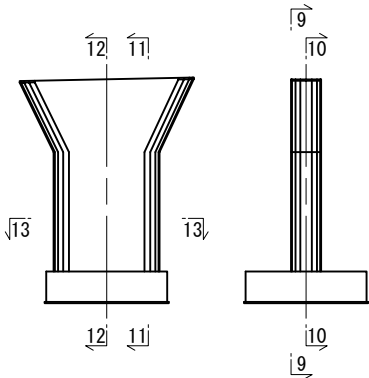
鉄筋質量表

種 別	径 (mm)	長 さ (mm)	本 数 (本)	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 重量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
上部工施工鉄筋 (SD345)							
◇ S 1	D16	1 170	32	1.56	1.83	59	—
						59 kg	
上部工施工鉄筋 (SD345)							
		A	B		C	合計	
D16		59 kg	— kg		—	59 kg	
総質量		59 kg	— kg		— kg	59 kg	

鉄筋加工寸法表

		主 筋		半円径フック		スターラップ		直角フック	
		θ ≦ 90° R=3.0φ		θ > 90° R=5.5φ		8φ以上で 12cm以上		ΔL=2L-a	
主 筋	径	θ ≦ 90° R=3.0φ	θ > 90° R=5.5φ	θ =45°	θ =60°	θ =90°	θ =135°		
		a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
スターラップ	D16	48	88	113	119	100	66	75	21
	D13	39	92	96	82	53	61	17	
	D16	48	113	119	100	66	75	21	
	D19	57	134	141	119	78	89	25	
	D22	66	155	164	138	91	104	28	
	D25	75	177	185	157	103	118	32	

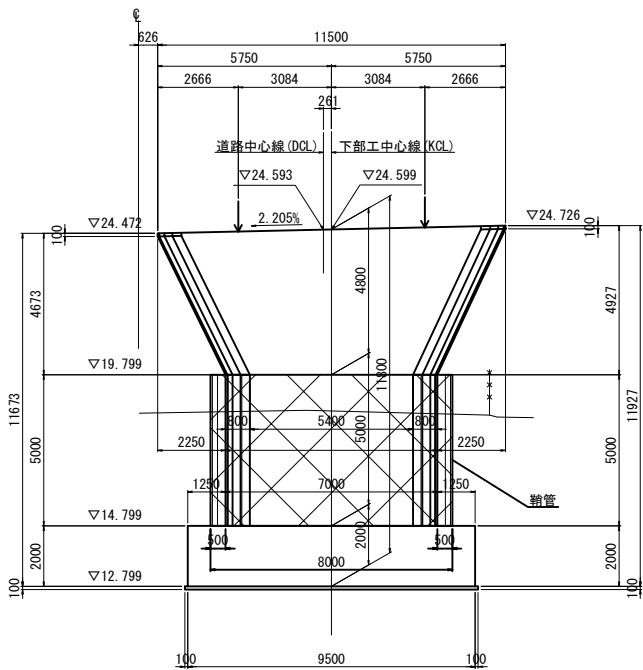
位置図



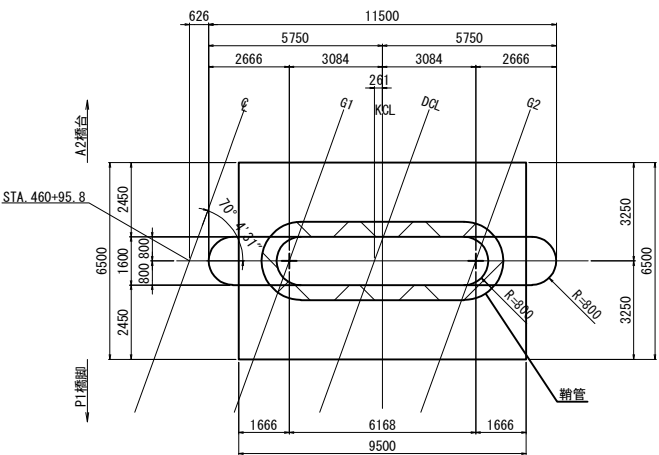
注) 鉄筋長は、切上(f)による10mm丸めとする。
 ※ 印表記は機械式鉄筋定着工法を示す。
 ◇ 印の鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。

常磐自動車道 馬藩沢橋他2橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	宇多川橋 P1橋脚配筋図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

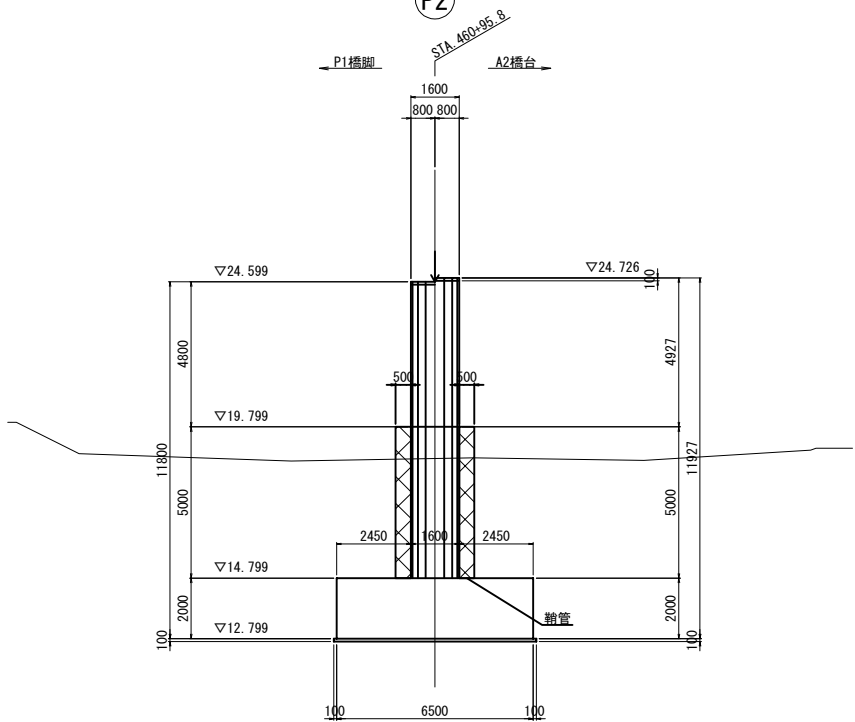
正面図



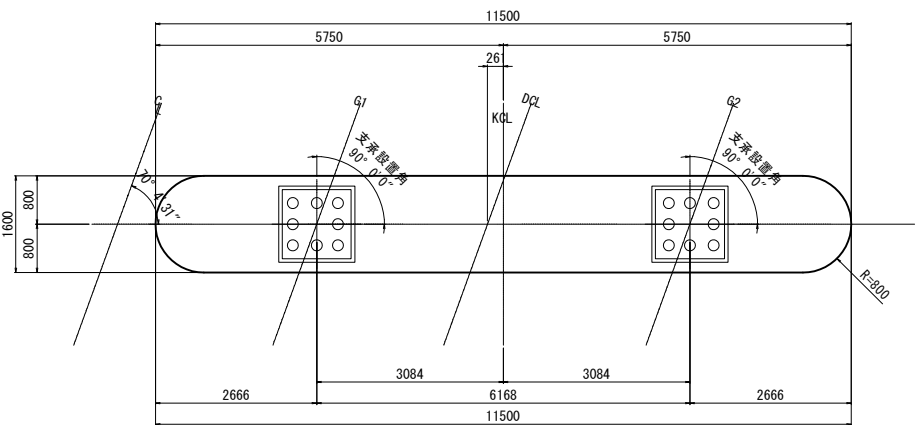
平面図



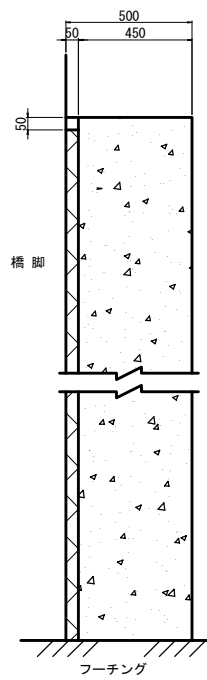
P2



橋座詳細図 S=1:125



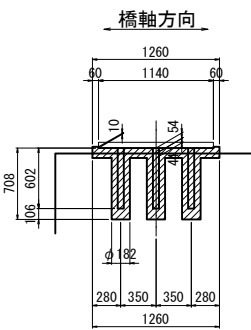
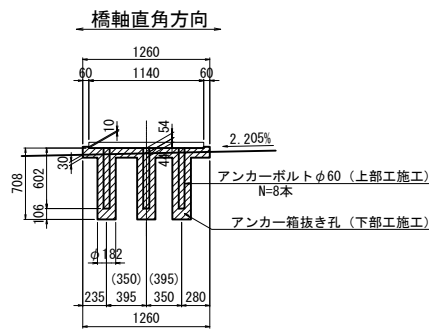
鞘管詳細図 S=1:30



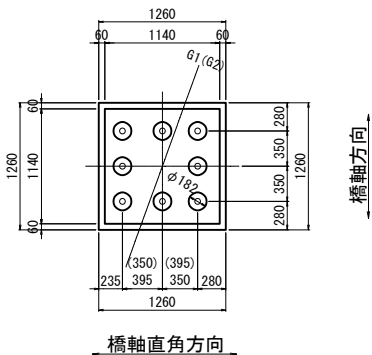
構造高表

		(単位 : m)			
		G1	DCL	KCL	G2
路面計画高	EL1	27.840	27.901	27.907	27.973
舗装厚	h1	0.080	0.080	0.080	0.080
床版厚	h2	0.310	-----	-----	0.310
ハンチ厚	h3	0.100	-----	-----	0.100
基準桁高	h4	2.300	-----	-----	2.300
下フランジ厚	h5	0.067	-----	-----	0.064
ソールプレート厚	h6	0.041	-----	-----	0.041
支承高	h7	0.357	-----	-----	0.357
構造高	Σh	3.255	-----	-----	3.252
支承下面高	EL2	24.585	-----	-----	24.721
モルタル厚	h8	0.054	-----	-----	0.054
台座高	h9	-----	-----	-----	-----
下部工天端高	EL3	24.531	24.593	24.599	24.667

支承部詳細図 S=1:75



平面図



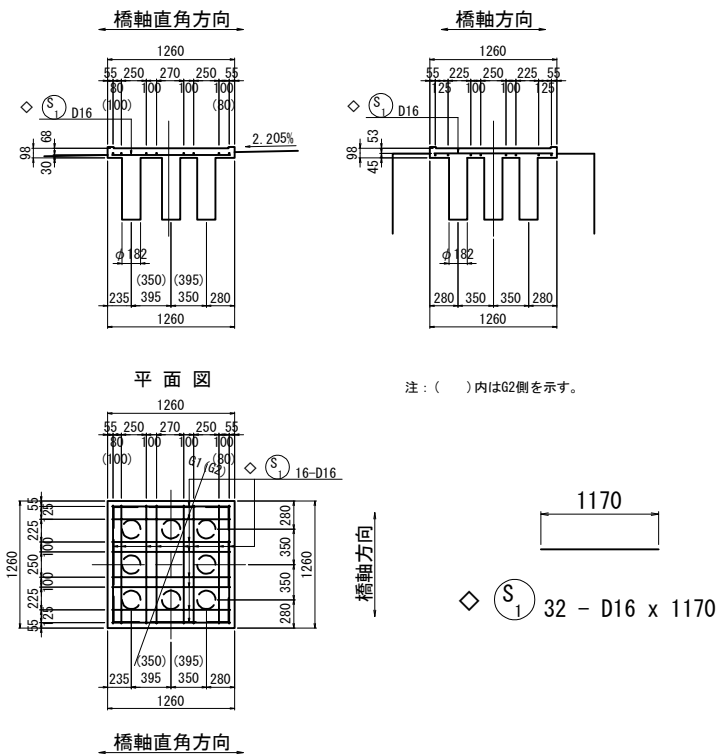
注1 : 部は無収縮モルタルを示す。なお、無収縮モルタルは上部工施工とする。
注2 : ()内はG2側を示す。

使用材料

鉄	筋	柱	SD345
---	---	---	-------

常磐自動車道 馬藩沢橋他2橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	宇多川橋 P2橋脚構造一般図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

沓座補強図 S=1:75
G1 (G2)



鉄筋質量表

種別	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 重量 (kg)	質量 (kg)	摘要
上部工施工鉄筋 (SD345)							
◇ S 1	D16	1 170	32	1.56	1.83	59	—
						59 kg	
上部工施工鉄筋 (SD345)							
A		B		C		合計	
D16		59 kg		— kg		59 kg	
総質量		59 kg		— kg		59 kg	

鉄筋加工寸法表

主筋

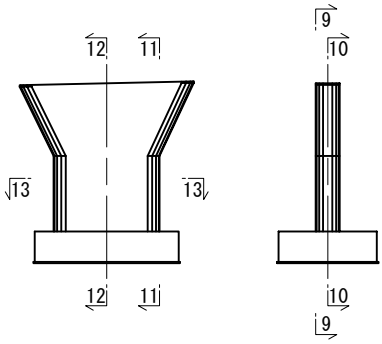
半半径フック

スターラップ

$$\Delta L = 2L - a$$

主筋	径	$\theta \leq 90^\circ$ R=3.0φ	$\theta > 90^\circ$ R=5.5φ	$\theta = 45^\circ$		$\theta = 60^\circ$		$\theta = 90^\circ$		$\theta = 135^\circ$	
		a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
筋	D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
スターラップ	径	R=3.0φ		$\theta = 45^\circ$		$\theta = 60^\circ$		$\theta = 90^\circ$			
		a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL		
	D13	39	92	96	82	53	61	17			
	D16	48	113	119	100	66	75	21			
	D19	57	134	141	119	78	89	25			
	D22	66	155	164	138	91	104	28			
	D25	75	177	185	157	103	118	32			

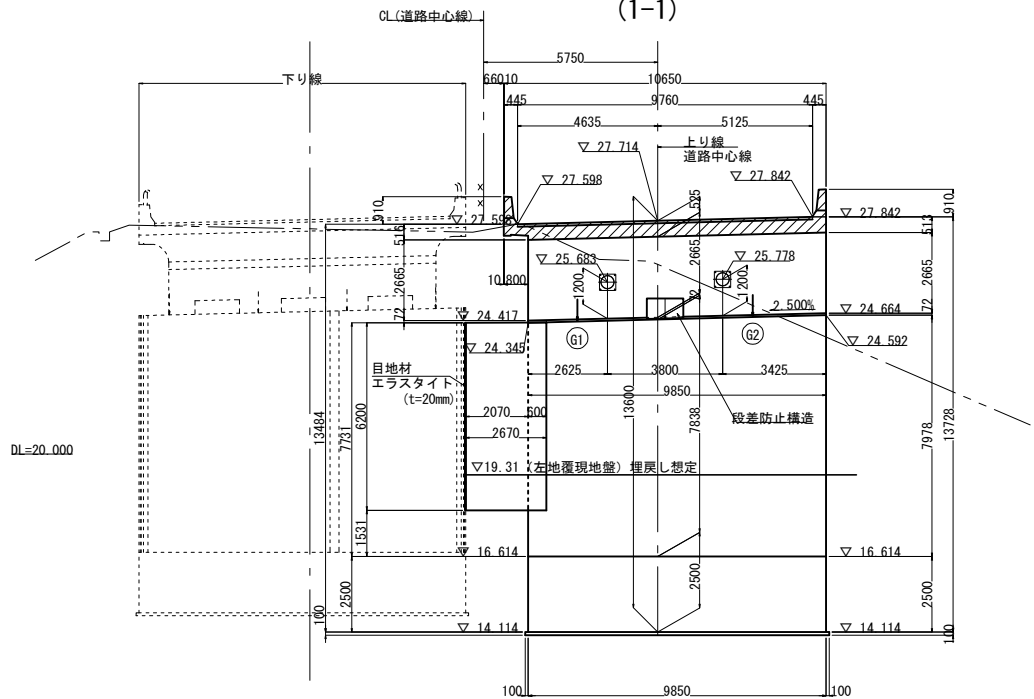
位置図



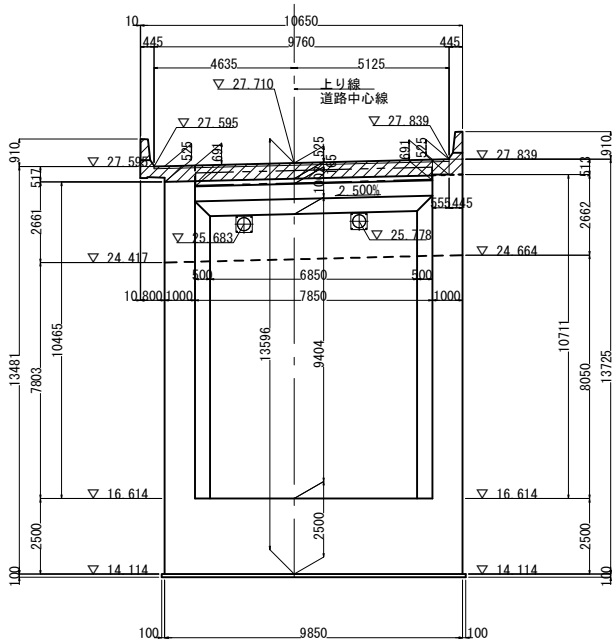
注) 鉄筋長は、切上(f)による10mm丸めとする。
※ 印表記は機械式鉄筋定着工法を示す。
◇ 印の鉄筋は上部工施工鉄筋を表す。

常磐自動車道 馬藩沢橋他2橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	宇多川橋 P2橋脚配筋図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工務事務所		

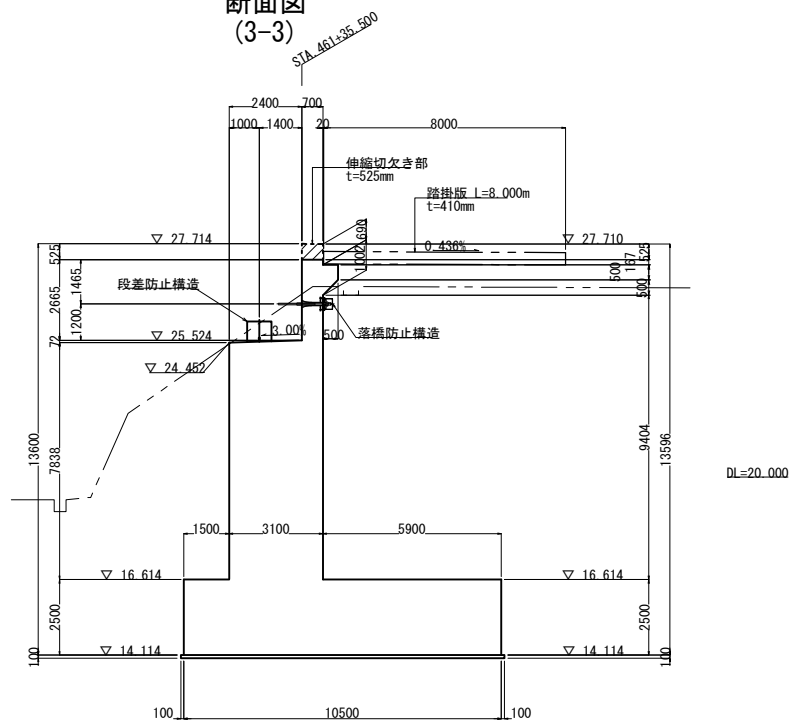
正面図
(1-1)



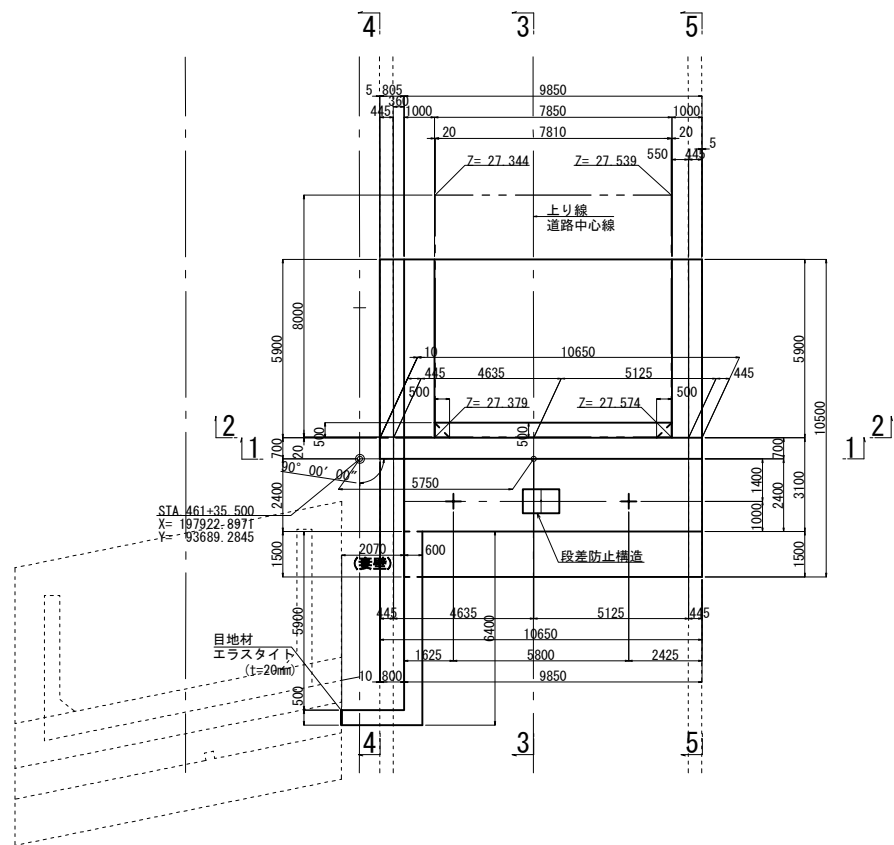
背面図
(2-2)



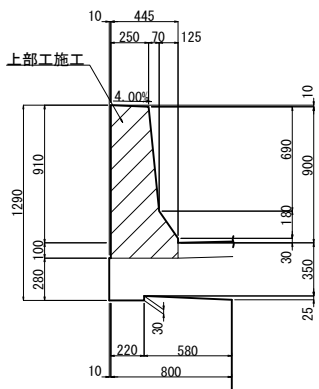
断面図
(3-3)



平面図



壁高欄詳細断面図

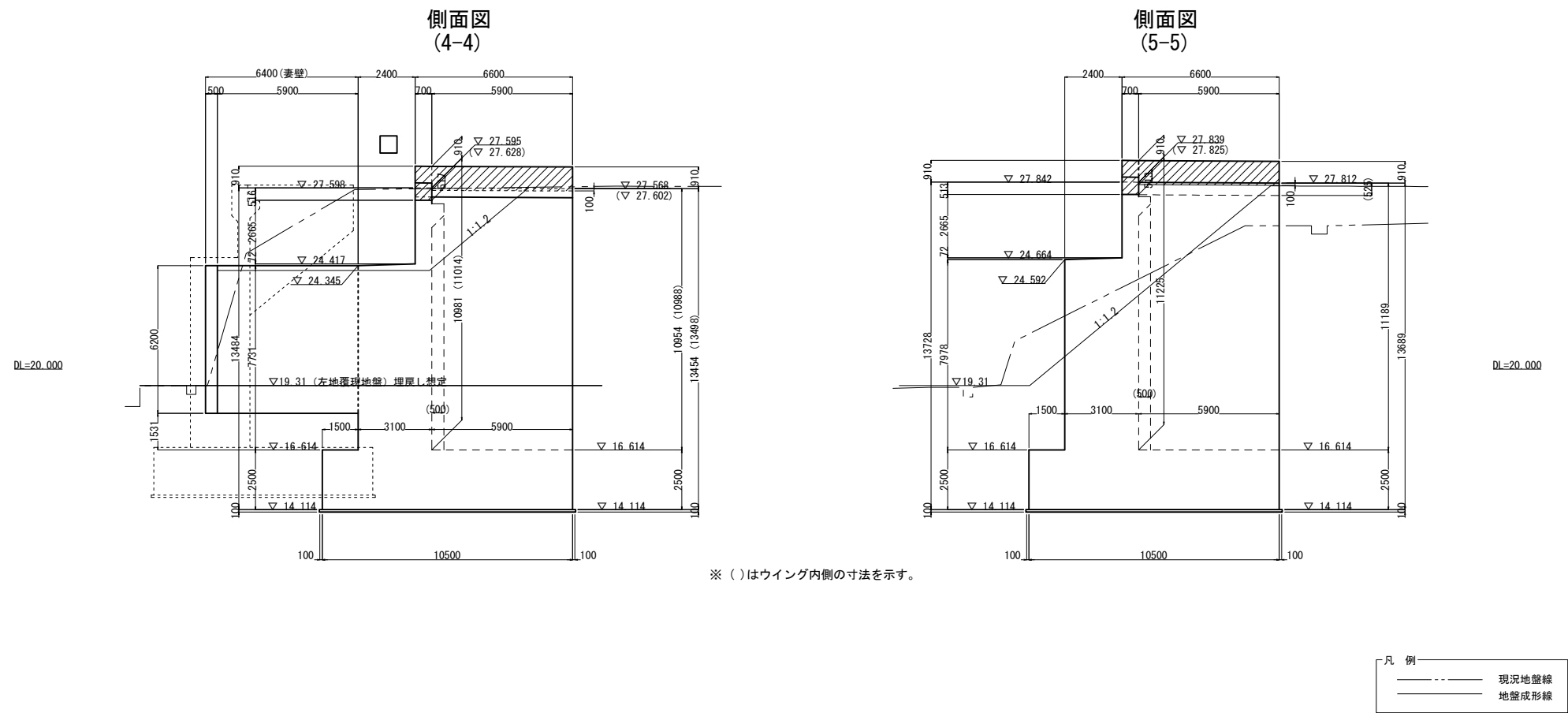


使用材料

	コンクリート	鉄 筋
軀 体	$\sigma_{ck}=30N/mm^2$	SD345 (エポキシ被覆塗装鉄筋)

- 注1) 斜線部は上部工施工とする。
注2) 平面図の“Z”は、路掛版の標高を示す。
注3) 軀体にはエポキシ被覆塗装鉄筋を使用する。
(ウイング、妻壁、土留壁、壁高欄を含む)

常磐自動車道 馬藩沢橋他2橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	宇多川橋 A2橋台構造一般図(1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工務事務所		

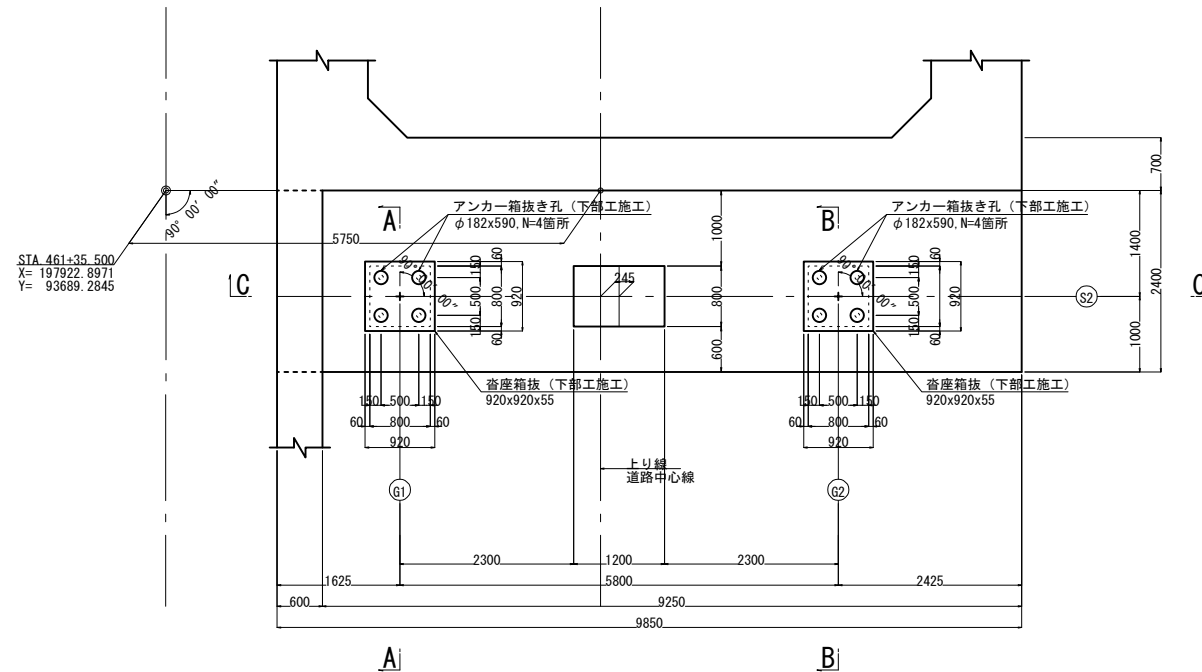


注)  部は上部工施工とする。

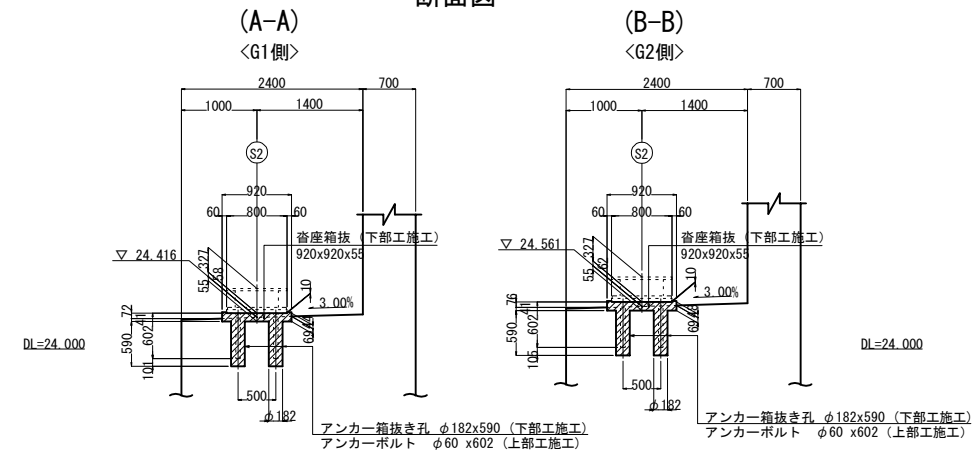
常磐自動車道 馬藩沢橋他2橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	宇多川橋 A2橋台構造一般図(2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

桁座詳細図

平面图



断面図

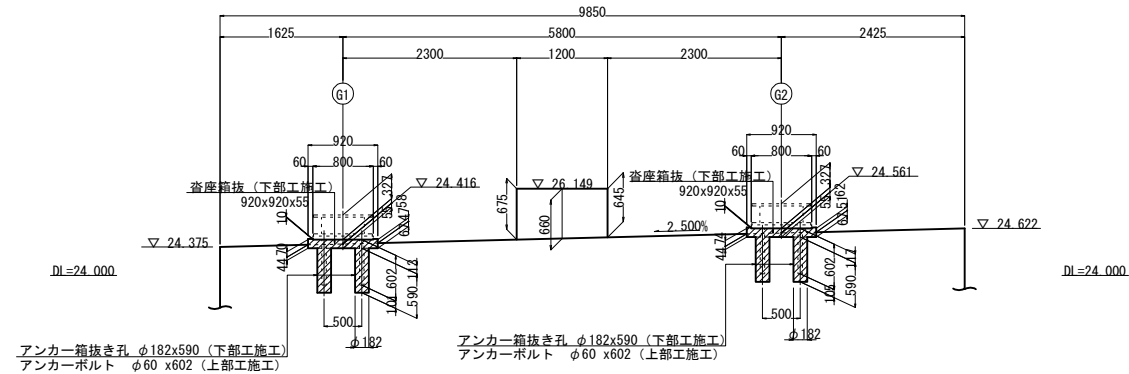


※ 斜線部は無収縮モルタルを示す。なお、無収縮モルタルは上部工施工とする。

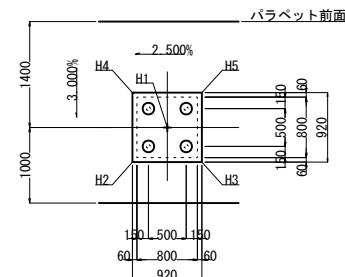
断面図

(C-C)

〈S2ライン〉

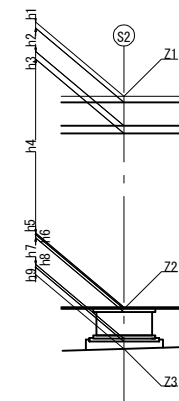


無収縮モルタル寸法表



	G1	G2
H1	0.058(0.055)	0.062(0.055)
H2	0.083(0.030)	0.087(0.030)
H3	0.060(0.053)	0.064(0.053)
H4	0.056(0.057)	0.060(0.057)
H5	0.033(0.080)	0.037(0.080)

※ ()内の数値は沓座箱抜き深さを示す。

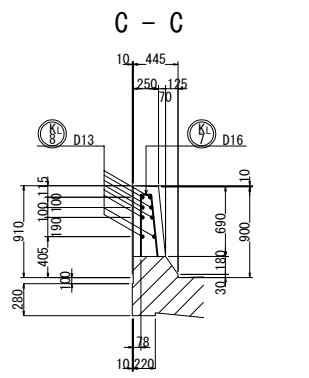
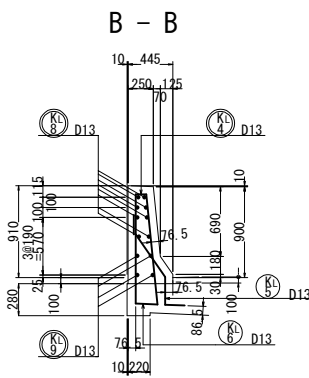
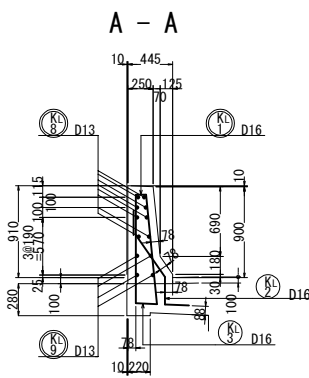
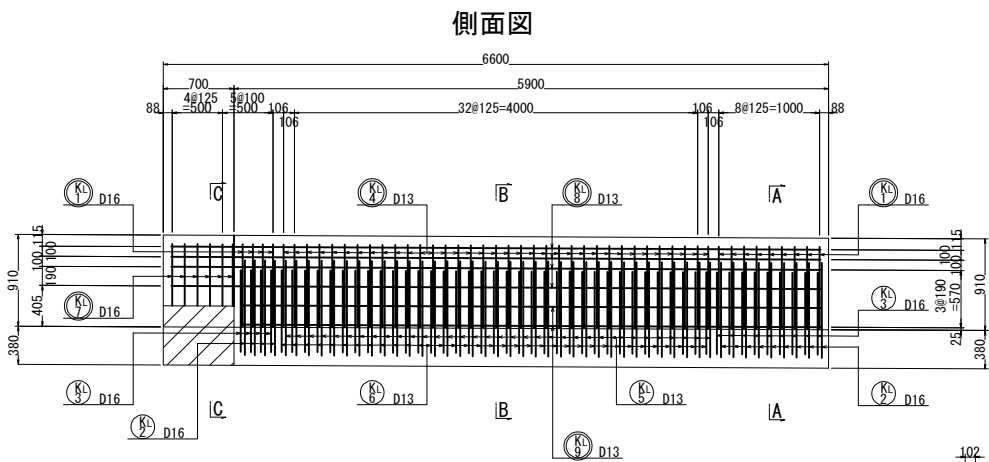


構造高表

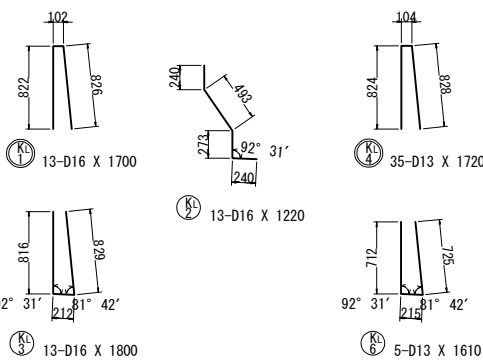
		S2 (STA. 461+34.100)	
		G1	G2
路面計画高	Z1	▽ 27.654	▽ 27.799
舗装厚	h1	0.080	0.080
床版厚	h2	0.310	0.310
ハンチ厚 (打下し)	h3	0.100	0.100
桁 高	h4	2.300	2.300
下フランジ	h5	0.023	0.019
桁下端高	Z2	▽ 24.841	▽ 24.990
ソールプレート厚	h6	0.040	0.040
支承高	h7	0.327	0.327
モルタル厚	h8	0.058	0.062
土座コンクリート高	H9	—	—
下部支墩高	Z3	▽ 24.416	▽ 24.561

常磐自動車道 馬藩沢橋他2橋(鋼上土工)工事			
図面の種類	宇多川橋 A2橋台構造一般図(3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

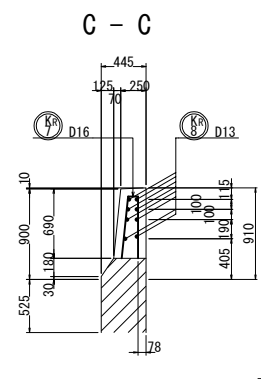
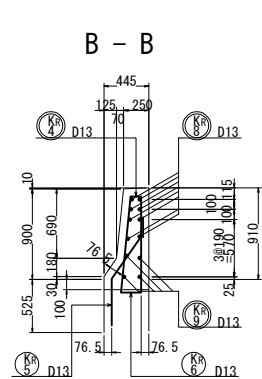
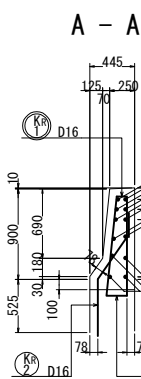
〈妻壁配筋図〉



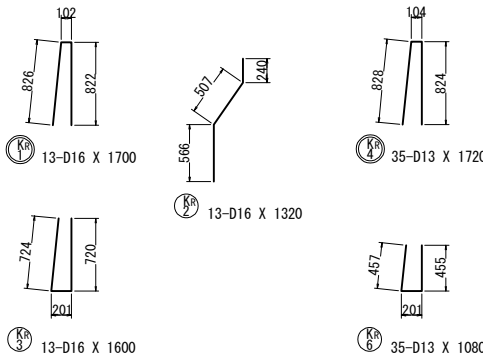
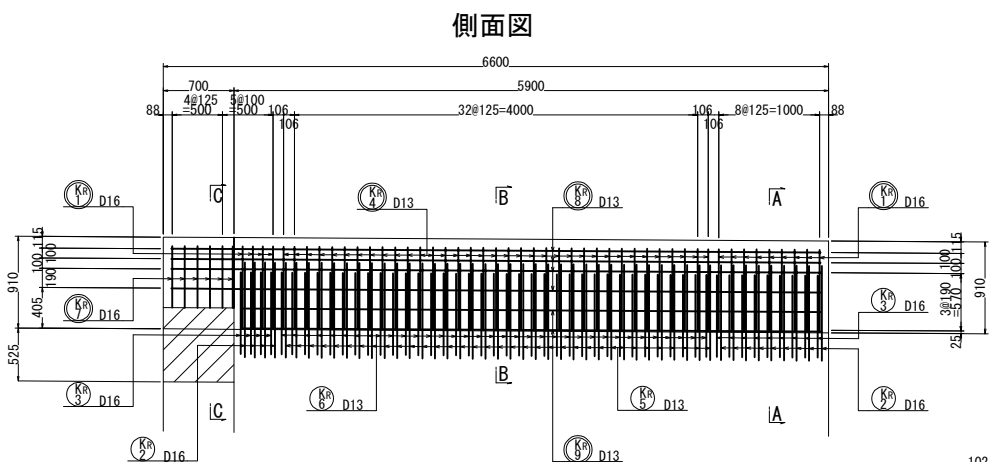
壁高欄詳細図 (左側) S=1:40



注) 縦方向は、端部1mの範囲にD16を配置し、それ以外はD13とする。



壁高欄詳細図 (右側) S=1:40



注) 縦方向は、端部1mの範囲にD16を配置し、それ以外はD13とする。

鉄筋表 (上部工施工) [エポキシ被覆塗装鉄筋]

記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
K ^上 ₁	D16	1700	13	1.56	2.65	34	⌈
K ^上 ₂	D13	1720	35	0.995	1.71	60	⌈
K ^上 ₃	D16	1280	6	1.56	2.00	12	⌈
K ^上 ₄	D13	6440	8	0.995	6.41	51	—
K ^上 ₅	〃	5740	4	〃	5.71	23	—
180kg							
K ^上 ₆	D16	1700	13	1.56	2.65	34	⌈
K ^上 ₇	D13	1720	35	0.995	1.71	60	⌈
K ^上 ₈	D16	1280	6	1.56	2.00	12	⌈
K ^上 ₉	D13	6440	8	0.995	6.41	51	—
K ^上 ₁₀	〃	5740	8	〃	5.71	46	—
203kg							
A B C 合 計							
合 計 D16				92 kg	—	—	92 kg
D13				291 kg	—	—	291 kg
総質量				383 kg	—	—	383 kg

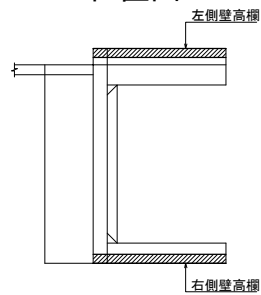
鉄筋加工寸法表

主 筋		半円径フック		スターラップ		直角フック	
		8φ以上で12cm以上					
		R		R		R	
		12φ		12φ		12φ	
		ΔL=2L-a					
主 筋	径	θ ≤ 90° R=3.0φ	θ > 90° R=5.5φ	θ=45°	θ=60°	θ=90°	θ=135°
		a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
筋	D13	39	71.5	92	96	82	53
	D16	48	88	113	119	100	66
スターラップ	径	R=3.0φ		θ=45°	θ=60°	θ=90°	
		a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
筋	D13	39	92	96	82	53	61
	D16	48	113	119	100	66	75
	D19	57	134	141	119	78	89
	D22	66	155	164	138	91	104
	D25	75	177	185	157	103	118

使用材料

部 材	コンクリート	鉄 筋
躯体	σck=30N/mm ²	SD345

位置図

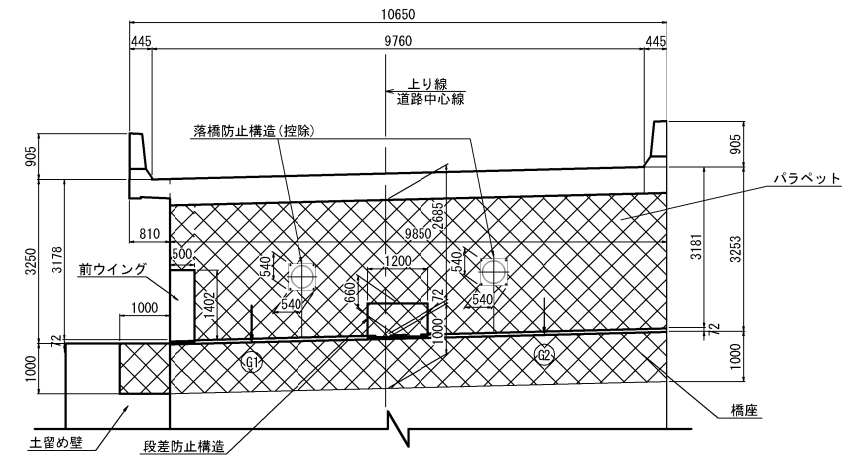


注1) ⦿ は上部工施工とする。
注2) 壁高欄の鉄筋は、すべてエポキシ被覆塗装鉄筋とする。

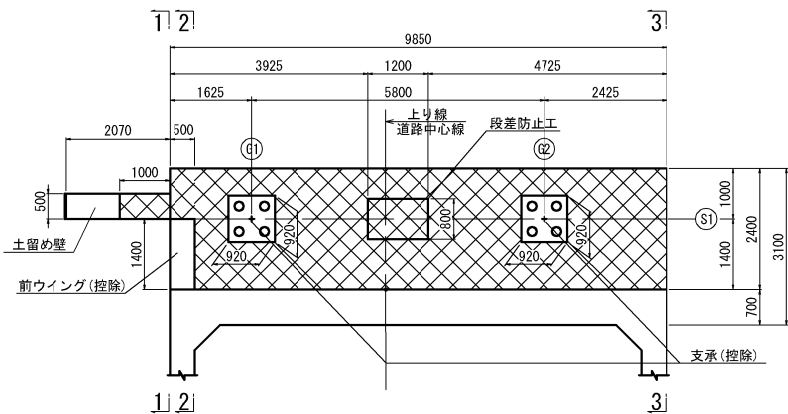
常磐自動車道 馬瀨沢橋他2橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	宇多川橋 A2橋台配筋図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工務事務所		

A1橋台

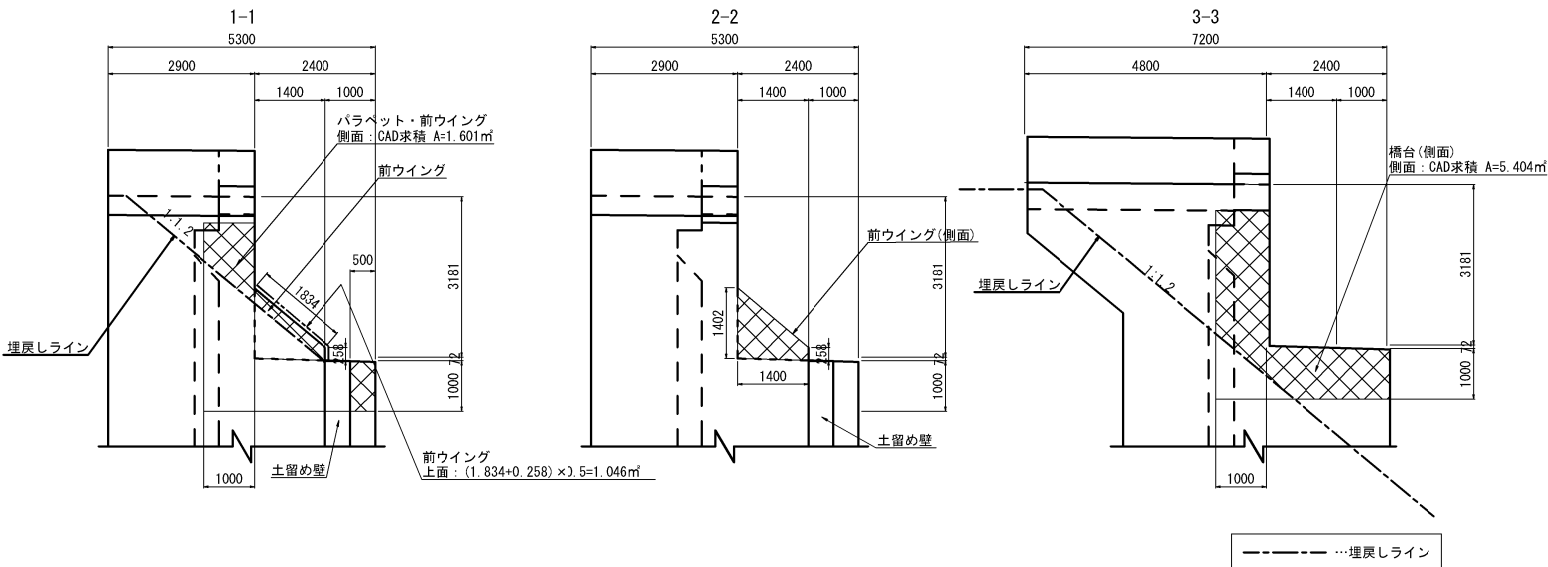
下部工側
正面図



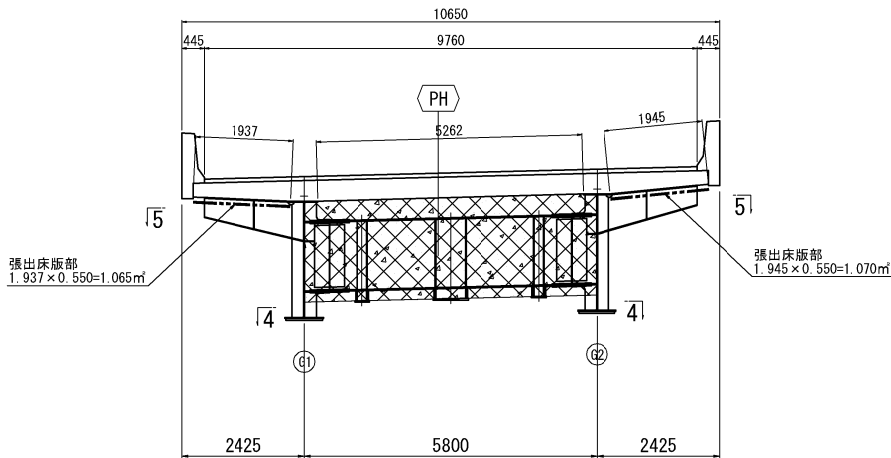
平面図



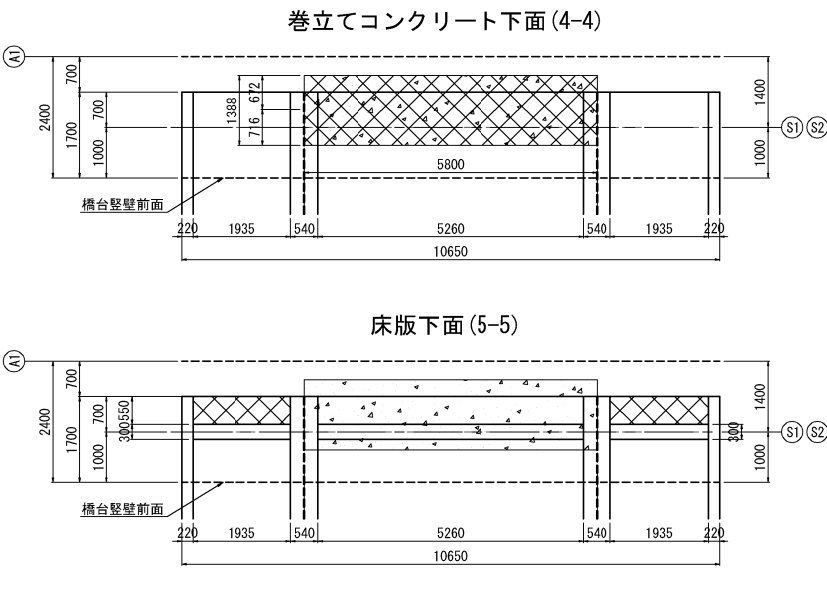
側面図



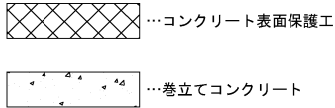
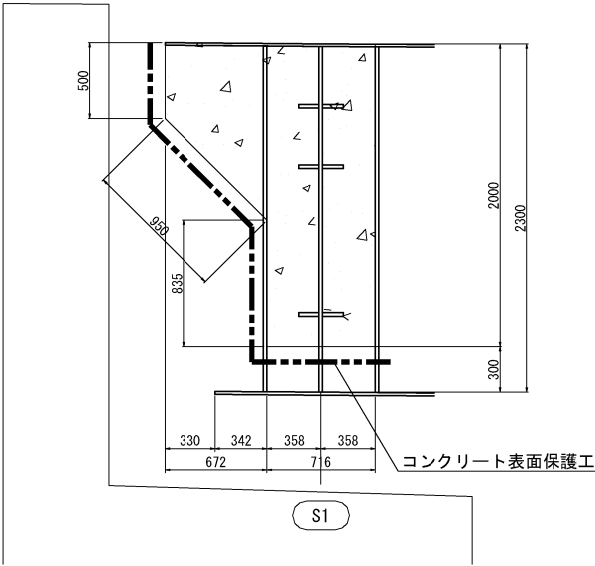
上部工側
正面図
S1



平面図



側面図 S=1:50

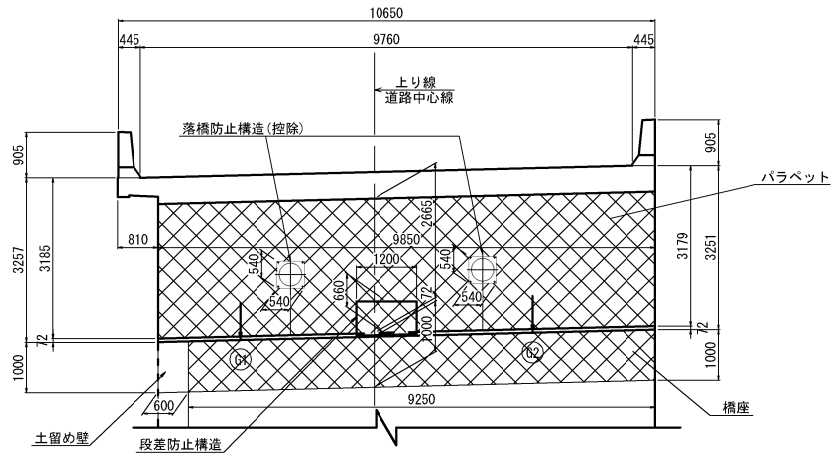


箇所	単位	面積	摘要
下部工数量	㎡	70.1	
上部工数量	㎡	19.5	
合計	㎡	89.6	

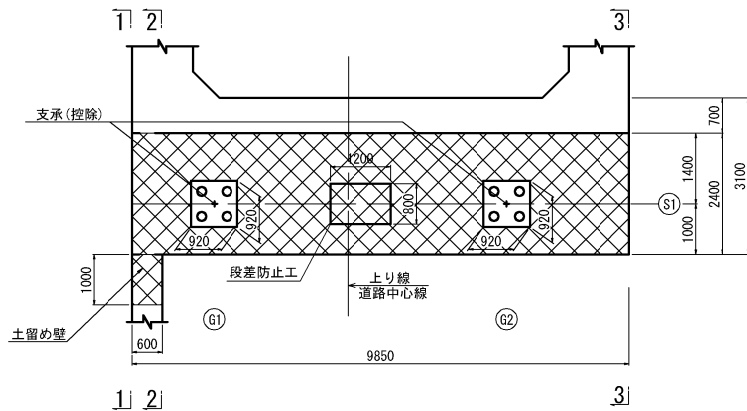
常磐自動車道 馬場沢橋他2橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	宇多川橋 コンクリート表面被覆工詳細図 (1)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		

A2橋台

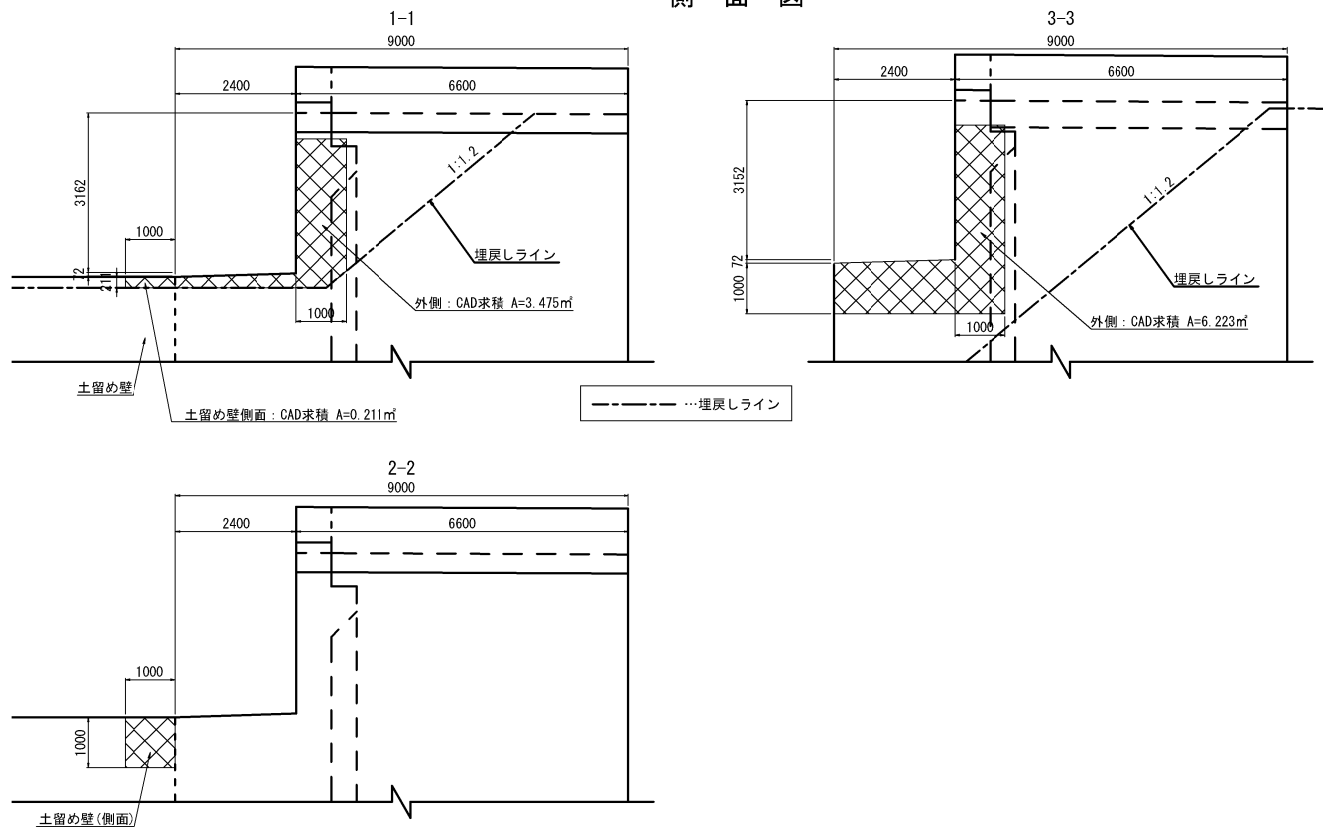
下部工側
正面図



平面図

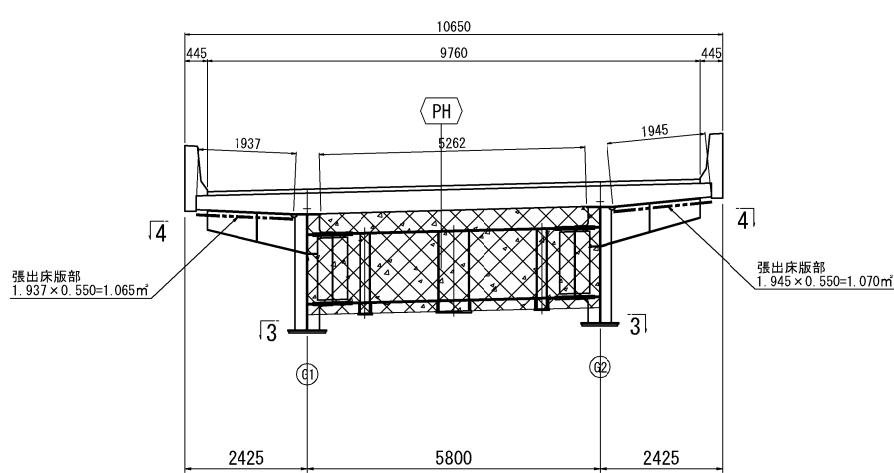


側面図



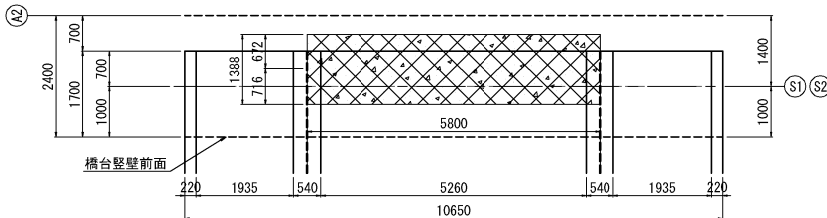
上部工側
正面図

S2

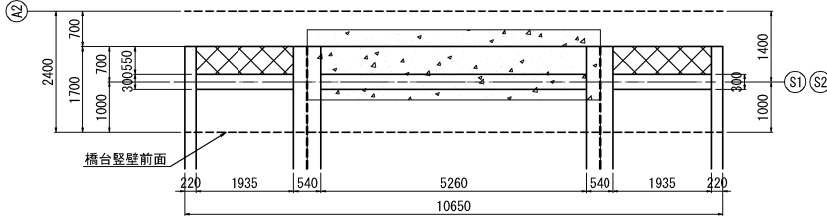


平面図

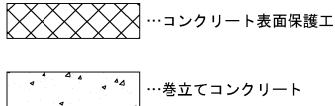
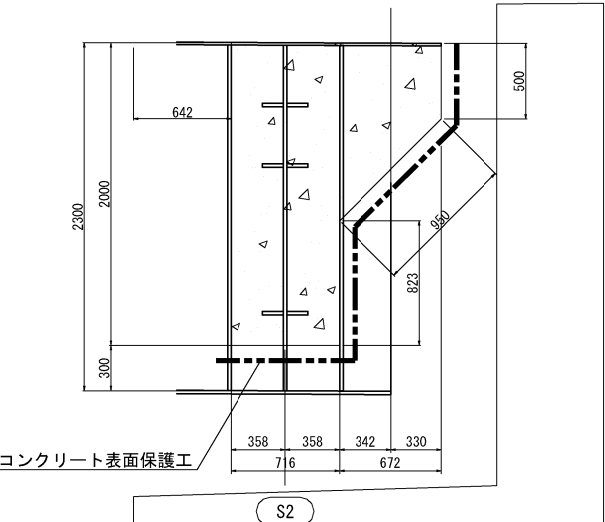
巻立てコンクリート下面 (3-3)



床版下面 (4-4)



側面図 S=1:50



箇所	単位	面積	摘要
下部工数量	㎡	71.0	
上部工数量	㎡	19.5	
合計	㎡	90.5	

常磐自動車道 馬藩沢橋他2橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	宇多川橋 コンクリート表面被覆工詳細図 (2)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 いわき工事事務所		